

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	学校芸術祭事業										事業コード	100102620102			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践								施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課						所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	208・209	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	-														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内小中学校児童生徒が芸術作品の作成や研究に取組み、その作品や研究成果を一堂に集めた展示会を開催する。展示会等では、日ごろの芸術活動や学習、研究の成果を発表し、鑑賞することで交流と研鑽をさらに深め、豊かな感性や人間性を育む機会とする。					
対象者	市内小中学校児童生徒教職員及び保護者等		対象者数	13,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	1,711		1,697		1,841		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		1,711		1,697		1,841		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	1,711		1,697		1,841		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決 算 情 報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	1,711		1,697						
	③ 執行額	1,051		1,590						
	④ 執行率	61.4%		93.7%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.24	/	0.00	0.56	/	0.10	/		
	② 概算人件費	1,920		4,760						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,971		6,350						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	音楽祭参加者数	人	0	/	800	683	/	800	1200	/	800
	下村脩グランプリ応募作品数	点	2071	/	2500	1907	/	2500	1718	/	2000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	音楽祭開催回数	回	0	/	1	1	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト		0.0		1051.0		1590.0				
	美術展開催数	回	1	/	1	1	/	1	1	/	1
		単位あたりコスト	647.0		1051.0		1590.0				学校芸術祭事業

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校(園)美術展は、市内の児童生徒等の優れた作品を一堂に展示し、児童生徒の学習成果を広く周知する貴重な機会であり、保護者や市民の期待も高い。R5年度は開催期間中に3,980人の市民等が来場し、児童生徒、園児の作品を鑑賞した。	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	展示等の準備は、教職員の動員により設営するとともに、開催中の運営についても教職員が交代で担当することで経費の削減を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	学校(園)美術展、下村脩グランプリ、小学校音楽祭の開催は、日頃の学習や研究の成果を披露する場であり、児童生徒が研鑽を深める機会となった。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	【自己評価】 児童生徒の作品や研究成果を一堂に展示することは、児童生徒の日頃の学習成果等を発信する貴重な場となっている。また、児童生徒が他校の児童生徒の作品展示を鑑賞することは自己研鑽につながり、豊かな感性を育む契機となる教育効果の高い事業である。(定性的評価)  【現状の課題】 今後は、厚生会館での開催が難しいことから別会場での開催を検討する必要がある。		
改 善 策	令和7年度に各イベントを開催できる会場を令和6年度に選定する。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	教職員資質向上事業										事業コード	100102620110			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践								施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課						所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	209・210	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	府教職員研修計画 学校教育の重点（府・市）				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	教育基本法 学校教育法 地方公務員法 福知山市教育研究グループ補助金交付要綱														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    （														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	児童生徒の学力向上や豊かな人間性を育む教育を実践するため、教職員の研修機会や研究に要する費用負担を行うことで、教職員の資質向上を図る。				
対象者	市立小中学校児童生徒及び教職員	対象者数	6,456	単位あたりコスト	1.5
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	1,324		1,273		1,195		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0											
小計(①～③)		1,324		1,273		1,195		0							
予算財源内訳	① 一般財源	1,324		1,273		1,195		0							
	② 国支出金	0		0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0											
	② 配当予算	1,324		1,273											
	③ 執行額	943		644											
	④ 執行率	71.2%		50.6%											
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.68	/	1.75	0.70	/	1.30	/							
	② 概算人件費	10,340		9,240											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,283		9,884											
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	けやき賞応募	人	6	/	5	6	/	6	/	6	6
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	人権研修フィールドワーク参加者	人	中止	/	20	21	/	20	/	20	20
	単位あたりコスト		0.0		44.9		37.9				
	単位あたりコスト		/		3		/		/		教職員資質向上事業

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li><li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li><li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li></ul>	教科別研修や人権教育研修の実施は、教員の知識・技能を最新情報に更新できることから、学校への還元等含めて必要な事業である。 教育研究グループは、人材の育成を目的としたテーマを研究対象とし研究を進めた。	<div><input type="checkbox"/> 高い</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> やや高い</div> <div><input type="checkbox"/> やや低い</div> <div><input type="checkbox"/> 低い</div>
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li><li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li><li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li></ul>	各研修の参加者が伝達研修を行うことで、効率的な研修につながるよう努めた。	
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li><li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li><li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li></ul>	教科別研修や人権教育研修を実施することで、先行事例を知り、教員、学校の資質向上が図れた。 教育研究グループは、市内の学校から参集されたグループであるため活動実績が、所属校等へ波及した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<b>【自己評価】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・計画的な研修の実施を行うとともに、これらの成果を広く発信することで教職員の資質向上につなげている。</li><li>・福知山市立学校校長会の指導のもとに公教育を積極的に推進する人材の育成を目的として設けられる研究グループを、支援することで教職員の資質向上が図られた。（LD研究会、人材育成グループ、人権教育研究会、算数・数学グループ研究会）</li><li>・けやき賞については、募集要領等を見直し、次年度に改めて執筆者の募集を行うこととした。</li></ul> <b>【現状の課題】</b> <p>教育課題が多様化する中であって、さらに教職員の指導力、資質向上が求められており、より計画的、系統的な研修の実施と研修機会の確保、効果的な発信、波及につながるよう研修内容や方法を改善していく必要がある。</p>		
改 善 策	研修は、内容の精選を行いつつ、オンラインやオンデマンド等の様々な研修方法を工夫し、研修機会や伝達研修の場を適切に設定する。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	学校運営事業							事業コード	100102620111					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課					所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	210	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	学校が展開する教育活動の一部を全市統一的に実施することで、学校運営の平準化、効率化を図り、豊かな学びの機会を保障する。					
対象者	教職員及び児童(新小中1年生・小学3・4年生)		対象者数	3,169	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☑ 直接実施    ☑ 業務委託    ☐ 指定管理    ☐ 補助金交付    ☐ その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,670		1,405		1,632		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		2,670		1,405		1,632		0						
予算財源内訳	① 一般財源	2,670		1,405		1,532		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		100		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	2,670		1,405										
	③ 執行額	1,880		911										
	④ 執行率	70.4%		64.8%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.24	/ 0.00	0.37	/ 0.05	/		/						
	② 概算人件費	1,920		3,100										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,800		4,011										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	プラネタリウム植物園見学実施率	%	実施なし / 100		100 / 100		100 / 100		/ 100		100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	プラネタリウム植物園見学の参加率	%	実施なし / 99		94.4 / 99		95.6 / 99		/ 99		99
	単位あたりコスト		0.0		19.9		9.5				
	単位あたりコスト		/		5 /		/		/		学校運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li><li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li><li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li></ul>	理科教育及び社会科教育課程において、身近な地域を通して教育活動を行うとともに、調査活動や具体的資料を通して必要な情報を調べまとめる技能を身につけること及び地域社会の一員としての自覚を養うことを目的とした事業である。令和5年度は、令和4年度に編集した社会科副読本を授業で活用している。また、社会見学における引率教員の入場料や入館料の補助を行った。児童科学館と植物園を使用した学習については、教育課程に組み込むことによって、対象学年全児童を対象に実施した。教育委員会が主体となり実施することにより学校事務や学びの平準化及び効率化を図った。	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li><li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li><li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各施設等の減免措置を積極的に利用し、最小限のコストで実施した。</li></ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li><li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li><li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市内の児童生徒が平等に学びの機会を享受できるよう、児童科学館と植物園を使用した理科学習や社会科副読本を活用した社会科学習を行った。</li></ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【自己評価】 地域と連携しながら体験学習等を実施することにより、地域学習の充実に寄与している。 感染症により急遽、児童科学館と植物園の見学を変更することになったが、関係機関との連携により実施することができた。 社会科副読本を活用して学ぶことで、より分かりやすく豊かな地域学習ができています。</p> <p>【課題】 社会科副読本は、改定の都度、文言の修正を行っているが、細部については見直すべき点が多い。 学校運営を安定させ、豊かな学びの機会を確保していくためには、教職員の業務改善を図り、働き方改革を更に推進し、子どもと向き合う時間を確保する必要がある。</p>		
改 善 策	学習指導要領や地域学習との兼ね合いを考えたいうえで、福知山市が全国的にPRしている事項等、最新の内容を含めるべきかについて、令和6年度に約1年かけて社会科副読本編集委員会にて検討を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )	<input type="checkbox"/> 他事業へ統合	(統合先事業名: )



福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	教育研究事業							事業コード	100102620112					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課					所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	210	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	教員の意欲・指導力・授業力の向上及び教育活動の充実を図ることにより、豊かな人間性を育む教育を実践する。				
対象者	教職員（幼稚園、こども園含む）	対象者数	605	単位あたりコスト	5.7
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他    （				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,008		973		912		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		1,008		973		912		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,008		973		912		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 5						
	② 配当予算	1,008		968						
	③ 執行額	652		692						
	④ 執行率	64.7%		71.5%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.24	/	0.00	0.33	/	0.05	/		
	② 概算人件費	1,920		2,780						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,572		3,472						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	定性的評価		/		/		/		/		
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	学校教育振興会全員研修参加率	%	46.4	/	85	75.4	/	85	77.2	/	85
	単位あたりコスト		2.6		8.6		9.0				
	単位あたりコスト		/		7		/		/		教育研究事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	研究活動を盛んにし、教職員の資質の向上及び教育力を高めることを目的とする学校教育振興会及び各種研究会に係る経費の一部を支援し、本市の学校教育の充実を図り、また活動に係る学校事務を効率化することができた。学校事務研究部、養護研究部などの課題別研究部や各種教科等研究部など学校単位ではできない横断的な教育研究活動も実施している。 令和5年度は、全員研修を実施したり、各研究部において課題別研究を行い、実践発表会や研究発表会を開催したり、活動等をまとめた学振だよりを発行した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・各種発表会等を令和元年度より一本化し、人的及び経費コストを削減している。 ・事前に予算執行に係る事業計画書の提出を受け、真に必要な購入等であるか審査している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・全教職員の活動実績を比較できる指標として、全員研修会の参加率を活動実績とした。令和5年度の全員研修については、事前に資料を全教職員に配信するとともに、研修会の内容を学振だよりに掲載して全教職員へ配布するなど、参加できなかった職員へも研修内容を周知した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【自己評価】 学校教育振興会や京都府小学校教育研究会等は全教職員が加入している組織であり、様々な課題や教科毎に研究を行い、その取組や成果を共有しており、福知山市の教職員全体の資質向上に寄与している。 また、学校単位ではない横断的な組織であるため、本市のみならず府下や全国の動向を知る機会となっている。(定性的評価)  【現状の課題】 令和5年の全員研修会は通常定員で実施することができたが、参加できなかった教職員もいたため、次年度は、より多くの教職員が参加できるよう工夫したい。		
改 善 策	より多くの教職員が参加できるよう、状況に応じてオンラインによる参加や研修内容の共有のための工夫を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--



福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	響プランF心の充実事業										事業コード	100102620212				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実							
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践								施策コード	413					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課						所属長	間島 哲哉							
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	211・212		頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	「響」プランF(学校教育内容充実促進プラン)				R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	響プランF(福知山市立学校教育内容充実推進プラン)に基づき、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が自らの可能性をしっかりと伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生きていく力を育てるため、芸術や文化、大学見学や職業体験によるキャリア教育等、様々な体験機会を充実させることで、豊かな人間性を育てていく。					
対象者	市立小中学校児童生徒		対象者数	5,935	単位あたりコスト	4.0
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	18,441		21,879		22,846		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		18,441		21,879		22,846		0						
予算財源内訳	① 一般財源	17,791		10,585		11,423		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	650		11,294		11,423		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 381		△ 579										
	② 配当予算	18,060		21,300										
	③ 執行額	14,428		19,145										
	④ 執行率	79.9%		89.9%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.51	/	0.00	0.61	/	0.00	/						
	② 概算人件費	4,080		4,880										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,508		24,025										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	響プランF心の充実事業(きょうと地域連携交付金)		種類	教育費府補助金		実績金額	9,567		27	頁		
			福知山学校緑化・森林環境学習推進事業交付金			雑入			420				決算附属資料	48

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	小6全国学力状況調査回答率(自分のよいところがあると思う)	%	76.4	/	70	86.7	/	100	86.7	/	100
	中3全国学力状況調査回答率(将来の夢や目標を持っている)	%	66	/	70	67.8	/	100	61.5	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	体験活動の参加率	%	60	/	95	97	/	100	96.3	/	100
	単位あたりコスト		84.4		148.7		198.8				
	単位あたりコスト		/		9		/		/		響プランF心の充実事業

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	福知山市立学校教育内容充実推進プラン「響」プラン・Fに基づき、小学4年生を対象とした京都の伝統文化を学ぶ見学や創作体験の実施、小学5年生を対象とした環境に配慮した給食食器の製造について学ぶパナソニック工場見学、また、中学1年生を対象とした劇団四季ミュージカル観劇の実施により、児童生徒にとって満足度の高い体験活動を提供でき、豊かな人間性を育む貴重な機会となった。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	児童生徒が全校で同様の体験活動ができるよう市が実施主体となる取組と、学校が創意工夫を凝らし、地域人材や保護者の協力を得ながら実施する取組を平行して進めることでコストの削減や効率化を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	小学4年生の体験では、児童が事前に机上で学習してきた京都の伝統文化等について実際に体験活動を行うことで身近に感じ、文化の継承を行う契機となった。小学5年生の体験では、新しい食器導入に際し、製造元であるパナソニック工場を見学することで、SDGsや環境に対する取組についての理解を深めることができた。また、中学1年生の観劇では、リアルな舞台芸術と舞台を創る多くのスタッフの役割を学び、豊かな心や感性を育む契機、キャリア教育のひとつとなった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生対象(博物館見学・体験活動)の児童向けアンケートの満足度が95%となっており、『博物館でいろいろな民族や国の文化や伝統を知れて楽しかった様々なことが学べた。清水焼を体験して、やってみないといろいろなものがわからないと分かった。』等の意見があった。</li> <li>・小学5年生対象(SDGs体験学習、パナソニック工場見学)の児童向けアンケートの満足度が97%となっており、『給食の食器のどこが環境に優しいかが分かったので嬉しい。森林の中の木はあればあるほど良いと思っていたけど意外とそうでもないと言う事がわかった。』等の意見があった。</li> <li>・中学1年生対象(劇団四季の観劇)の生徒向けアンケートの満足度が98%となっており、『初めて劇団四季をみて、生で見る迫力はすごいなと思いました。とっても歌声がすごくて心に響きました。また観たいなと思ったし来年の一年生にも観てほしいなと思いました』等の意見があった。ライブで鑑賞することの良さを回答する生徒が多くあった。</li> <li>・各校における心の充実体験活動(講座等)は、各校が考えた地域資源の学習体験や人権講演等の取組を実施</li> </ul> 【現状の課題】 小学校4年生の体験活動で、帰路の到着時刻が遅くなる学校がある。これは、博物館見学と伝統体験の基本行程に独自の取組を取り入れていることが要因となっている。		
改 善 策	次年度は、受注業者と協力し基本行程以外の取組の制限を考えていく。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	いじめ根絶対策事業										事業コード	100102620402			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践								施策コード	413				
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課						所属長	間島 哲哉						
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	215	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	いじめ防止対策推進法														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	児童生徒や保護者をはじめ、社会全体で自他の命の大切さを見つめなおす機会を設定し、いじめ等の人権侵害の根絶を図る。				
対象者	市内児童生徒及び保護者・教職員	対象者数	13,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	724		1,129		1,129		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		724		1,129		1,129		0						
予算財源内訳	① 一般財源	254		323		323		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	470		806		806		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	724		1,129										
	③ 執行額	640		1,040										
	④ 執行率	88.4%		92.1%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.29	/	0.20	0.46	/	0.45	/						
	② 概算人件費	2,880		4,940										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,520		5,980										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	自殺対策事業(いじめ根絶対策事業)		種類	教育費府補助金		実績金額	316		決算附属資料	27		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	いじめ認知件数(小中計)	件	1758	/	2000	1827	/	2000	1610	/	2000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	いじめ講演会開催回数	回	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト		535.0		640.0		1040.0				
	巡回講演開催回数	回	10	/	10	11	/	12	12	/	12
	単位あたりコスト		53.5		53.3		86.7				

いじめ根絶対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 <sup>1</sup> の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	本事業は、社会的なテーマでもあるいじめ等の人権侵害の根絶を図ることを目的としている。いじめ防止講演会、ネットトラブルストップ講座、いじめ防止対策委員会の開催、民間委託によるCAPプログラムの実施は、市民の意識を高めることから目的達成に向けた適切な手段である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	府補助金を活用することにより市のコスト削減を実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	福知山市いじめ防止基本計画のもと、いじめ根絶に向けた啓発の取組や認知したいじめへの早期対応に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<b>【自己評価】</b> ・いじめ防止講演会『みんなでなくそう！差別といじめ』（令和5年11月開催）は、市民（保護者）、学校関係者を対象として実施しており、約90%の方が講演会を良かったと回答していることから、多くの参加者の学びにつながった。 ・ネットトラブルストップ講座は、12校で実施し、各校からの評価も高い。講演は、児童生徒に人気のあるアプリの説明や誤った利用をすることの危険性、実際に学校現場であったトラブルを伝える内容である。 ・いじめ防止対策委員会（年2回）は、福知山市のいじめの現状、令和5年度の取組に対して委員から専門的な助言を受けた。 ・CAPプログラムは、2校8クラス（8回）と対象校の教員向けの2回を実施し、実施校からの評価も高い。「子どもは、一人ひとり権利を持った大切な人」で暴力を受けても良い人は一人もいないことやSOS発信のやり方等をこのプログラムを通して児童に伝えた。 <b>【現状の課題】</b> CAPプログラムは、初めての事業であったこともあり、本格始動が2学期からとなった。		
改 善 策	CAPプログラムの受託事業者と年度当初に契約締結し、余裕のある年間スケジュールとする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	少年補導センター運営事業								事業コード	100501610106				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進						施策コード	413					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課					所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	223・224	頁
計画期間	開始年度	昭和47年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市少年補導センター条例、福知山市少年補導センター条例施行規則													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	次代を担う青少年が、より確かな人格形成と人間としての温かさ、思いやりのある豊かな心、創造性を培うことができる地域づくりを推進する。				
対象者	市内の青少年	対象者数	14,000	単位あたりコスト	0.4
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,239		1,229		1,225		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,239		1,229		1,225		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,239		1,229		1,225		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0				0						
決算情報	① 流充用額	△ 41		0										
	② 配当予算	1,198		1,229										
	③ 執行額	995		1,015										
	④ 執行率	83.1%		82.6%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.06	/	1.19	0.12	/	1.23	/						
	② 概算人件費	3,812		4,404										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,807		5,419										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	注意助言件数(少年補導委員)	人	21	/	0	12	/	0	14	/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	少年補導活動回数(少年補導委員)	回	197	/	300	181	/	300	204	/	300
	単位あたりコスト		4.8		5.5		5.0				
	年間少年補導活動延べ人数(少年補導委員)	人	661	/	850	1,119	/	850	758	/	850
		単位あたりコスト	1.4		1.6		1.3				

少年補導センター運営事業

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育のまち福知山を標榜する本市にとって、青少年の健全育成・非行防止は最重要課題である。少年補導センターは、52年にわたり一貫して「愛の一声」運動による青少年の健全育成と非行防止活動を継続している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補導委員77名を旧市内、旧三町の活動エリアに適切に分けて、原則1か月1人2回、1回に3～5人の委員を配置して、補導や啓発の活動を的確に行っている。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭補導活動を年間204日、述べ758人が従事。結果14人の少年に対して声かけを行うことができ、非行の未然防止につながった。</li> <li>・補導委員から全国少年補導功労者表彰 栄誉銀賞が1名、近畿少年補導功労者表彰が1名、京都府青少年健全育成功労者等知事表彰を2名がそれぞれ受賞した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○青少年の声かけについては、粗暴行為が多くみられた。今後も関係機関等と協力し、対応する。 ○活動実績についてはコロナ前の活動回数、延べ人数ともに戻っており、一定の評価はできる。委員の皆さんも他に仕事があり、急激な増加は望めないものの、活動計画やシフトを見直し、活動人員や回数の増加を行う。		
改 善 策	○毎日、市内各所において街頭補導活動を実施する。 ○学校、関係機関との情報交換を行い、連携強化を図る。 ○補導委員の意識向上のため、警察官による少年非行現状の講話研修を行う。		

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--



福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	青少年健全育成事業							事業コード	100501610204					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実							
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践					施策コード	413						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	岸見 貴志							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	224・225	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市青少年問題協議会条例													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。				
対象者	市の将来を担う子ども達	対象者数	14,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	389		389		416		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		389		389		416		0						
予算財源内訳	① 一般財源	389		389		416		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 28		37										
	② 配当予算	361		426										
	③ 執行額	345		418										
	④ 執行率	95.6%		98.1%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.28 / 0.04		0.22 / 0.11		/		/						
	② 概算人件費	2,352		2,068										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,697		2,486										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	健全育成大会参加者数	人	23	/	150	91	/	150	113	/	150
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	健全育成大会開催	回	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト		337.0		345.0		418.0				
			/		15		/		/		青少年健全育成事業
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実施事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。令和5年度においても、青少年健全育成大会を開催し、青少年を非行から守り健全に育てる運動を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成活動推進者表彰等により、市民への啓発等が行えている。</li> <li>・9月に(公)京都府青少年育成協会市町民会議が開催され、府や周辺市町村の青少年健全育成に関する情報や活動等について、現状報告及び意見交流を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会は当日悪天候により、書面協議とした。</li> <li>・保護者や青少年健全育成関係者が一堂に会する青少年健全育成大会の後、4年ぶりに街頭啓発の実施を計画した。当日は悪天候により街頭啓発活動は中止とし、啓発物品を関係機関に配布して啓発に繋げた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年問題協議会は書面協議、青少年健全育成大会後に計画した街頭啓発活動は、当日の悪天候により中止となった。</li> <li>○青少年健全育成大会は多くの方に参加していただくため、大会の重要性や開催についての広報を行う。</li> <li>○青少年を取り巻く問題は、日々変化しているため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進していく。</li> </ul>		
改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政や青少年健全育成関係者だけでなく、子育て中の親の学ぶ場として、青少年健全育成大会のプログラム構成(保護者を対象としたネットトラブル対策や薬物乱用の防止・根絶についての啓発)など、現代の青少年問題解決に効果的な内容への見直しが必要である。</li> <li>○街頭啓発活動においては、従来からJR福知山駅周辺等での活動を基本としてきたが、当日の天候に実施が左右されるため、実施手法について見直しが必要である。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 預算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名: )		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	学校給食センタージビエ活用事業							事業コード	100603621559					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実							
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413					
事業担当	所属	60060000 教育委員会 学校給食センター				所属長	谷垣 薫							
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	03 学校給食費		会計	01 一般会計	決算附属資料	242	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他    (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市学校給食センターでは地産地消を推進し、児童生徒及び教職員に地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらうことを目的とし、シカやイノシシなどのジビエを使用した献立を学校給食に提供する。 食材はジビエの認証施設で処理加工された安心・安全な地元産を使用し、食材費の一部を負担する。					
対象者	市立小中学校の児童生徒及び教職員		対象者数	6,497	単位あたりコスト	0.4
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算 情報	① 当初予算	875		875		1,340		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		875		875		1,340		0		
予算 財源 内訳	① 一般財源	875		875		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		1,340		0		
決算 情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	875		875						
	③ 執行額	701		875						
	④ 執行率	80.1%		100.0%						
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.25	/	0.10	0.21	/	0.10	/		
	② 概算人件費	2,280		1,960						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,981		2,835						
主な利用特財 (N－1年度実績値)	特財名称	学校給食センタージビエ活用事業(きょうと地域連携交付金)		種類	教育費府補助金		実績金額	413	決算附属資料	28
										頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	提供回数	回	/	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地元産ジビエの活用	回	/	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト			350.5	437.5		
	単位あたりコスト		/	17 /	/	学校給食センタージビエ活用事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実取事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li><li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li><li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li></ul>	地産地消や多様な献立に対応し、食文化への理解を深めるために学校給食に地元産のジビエを食材として活用し提供した。	<div><input checked="" type="checkbox"/> 高い</div> <div><input type="checkbox"/> やや高い</div> <div><input type="checkbox"/> やや低い</div> <div><input type="checkbox"/> 低い</div>
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li><li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li><li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li></ul>	通常の食材との差額分を負担金として支出することで最低限の支出にとどめた。	
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"><li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li><li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li><li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li></ul>	ジビエ食材を地元の業者から仕入れることで地元の産業に貢献できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業は2年目であり、ジビエについて理解され給食メニューとして受け入れられていると思われる。狩猟期間に限られること、学校給食には一定の量が必要となることや仕入れ先の確保の課題があるが、地元産のジビエを使い提供する。		
改 善 策	1人1食あたり25g使用するとして給食メニューに提供しているが、提供するメニューによっては量が少なく存在感が感じられない懸念もあるため、令和6年度は1人1食あたり40g～50g程度提供する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	「人と環境に優しい」植物繊維素材給食食器導入事業										事業コード	100603621560			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践								施策コード	413				
事業担当	所属	60060000 教育委員会 学校給食センター						所属長	谷垣 薫						
会計情報	款	10 教育費		項	06 保健体育費		目	03 学校給食費		会計	01 一般会計		決算附属資料	242	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	－			R6現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	－														
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他    (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市立小中学校で現在使用している石油由来のPEN樹脂製の給食食器の更新を行う。 ・更新する食器に環境の視点から教育的意義を持たせ、さらに福知山産木材の製品化により地域資源の魅力再発見、シビックプライドの醸成を図る。					
対象者	市立小中学校児童生徒及び教職員		対象者数	6,497	単位あたりコスト	14.6
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他    (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		91,212		0		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		0		91,212		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		35,000		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		56,212		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	0		91,212									
	③ 執行額	0		91,212									
	④ 執行率	0.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00	/	0.00	0.45	/	0.06	/					
	② 概算人件費	0		3,768									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		94,980									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	「人と環境に優しい」植物繊維素材給食食器導入事業基金繰入(ふるさと納税基金)		種類	基金繰入金		56,212		決算附属資料	40		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	導入数	セット	/	/	8,000 / 8,000	/ -	8,000
	導入校	校	/	/	23 / 23	/ -	23
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	周知	回	/	/	2 / 2	/ -	2
	単位あたりコスト				45606.0		
	単位あたりコスト		/	19 /	「人と環境に優しい」植物繊維素材給食食器導入事業		

# V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油由来のPEN樹脂製の給食食器を使用していたが、更新時期を迎えていた。</li> <li>・小中学校の学校給食における食器の教育的意義の重要性に着目していた。</li> <li>・パナソニックグループが環境省から依頼・委託を受けて取り組まれていた環境負荷の少ない食物繊維による研究開発、とりわけ高濃度セルロースファイバー複合材料による製品化に注目していた。</li> <li>・最先端の取り組みと高い技術力を持つパナソニックグループに、福知山市独自の植物由来の学校給食食器づくりを依頼し、共同で取り組むことになった。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに導入する食器は、SDGs時代の素材として福知山市内の間伐材を使用することとし、セルロースファイバーを高濃度で樹脂に混ぜ込む技術は、パナソニックグループの独自技術であり、製品化はパナソニックグループのみ可能であり、取組の目的がパナソニックグループ以外に代替性のないものであることから一者随意契約を行った。</li> <li>・パナソニックグループとの交渉の結果、費用が減額された。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食食器に福知山市産の間伐材が活用されていることで、環境負荷低減につながる。</li> <li>・児童生徒の環境問題への理解、地域資源の魅力の再発見や郷土愛・シビックプライドの醸成が図られる。</li> <li>・学校給食食器導入の取り組みにより、「大阪・関西万博の共創チャレンジ」に登録された。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の予定どおり、市内全小中学校の2学期の給食開始から新しい給食食器を使用することができた。</li> <li>・食器導入前に行った児童生徒への環境教育授業の感想として「新しい食器になるのはうれしく、なおかつその食器が環境にいいのがさらにうれしい」「間伐材がゴミにならず給食の食器にすることで環境に良いと分かった」などがあり、児童生徒が環境問題をより身近なものとして捉え、SDGsについて考えるきっかけとなった。</li> </ul>		
改 善 策			

# VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

# VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

# VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--